

令和7年度の重点課題

【情意面】

「運動ができるようになりたい」と考えている児童が多いが、実際に目標をもって挑戦できていない児童が数名いる。

【体力面】

全体的に全国平均値を下回るものが多く、男子では「ボール投げ」「反復横跳び」「20mシャトルラン」の数値が、女子では「上体起こし」「立ち幅跳び」の数値が特に低い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○体つくりの運動を重視し、楽しみながら筋力を高める運動を多く取り入れた。

○ボール運動を年間計画に適切に配置し、単元の中で投げ方の指導、児童の投げる機会を増やした。

○授業初めに、サーキットトレーニングを取り入れた。

○マラソン大会や縄跳び大会を開催し、運動に関わる機会を増やした。

○全学年で新体力テストを行い、個人記録表に記入することで、自らの体力の伸びを知らせ、体力向上への意欲をもたせた。

○体育科学習で、「する」だけでなく、「見る」「知る」「支える」活動をより意識して取り入れた。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.00	20.50	38.50	48.50	52.00	9.10	174.00	16.00	56.00

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.90	19.90	38.30	45.50	44.40	9.00	157.00	13.50	59.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.00	20.50	38.50	48.50	52.00	9.10	174.00	16.00	56.00

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.90	19.90	38.30	45.50	44.40	9.00	157.00	13.50	59.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	50.00	50.00	0.00	0.00	第5学年	25.00	37.50	25.00	12.50

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○授業初めのサーキットトレーニングを引き続いて行う。
○学年に応じて、ルールを自分たちで工夫していくこと、チーム内で作戦をたてて活動していくことをこれまでよりも増やし、自ら楽しくしていく経験を増やす。
○「ボール投げ」に関わる種目では、いろいろな大きさのボール、特に小さなボールを扱う機会を取り入れる。
○ICTを有効に活用し、動きのポイントを明らかにした上で、自ら解決していく活動を増やす。

体育の授業以外で行う取組内容

○児童会主催の「縦割りレク(ロング昼休憩)」を開催する。
○マラソン大会や縄跳び大会等の体育的行事を開催し、自分の目標をもって活動させることや、休憩時間の運動機会を増やすことにつなげる。
○学級レクにスポーツを取り入れる。
○全学年で新体力テストを行い、自らの伸びや課題を知らせ、体力向上への意欲をもたせる。

重点課題

情意面での課題

○「体育の授業が好き」の問いに全員が肯定的な回答をしており、「運動やスポーツができるようになりたい」とほぼ全員が答えているが、1日の運動時間が30分未満の児童は半数いる。運動を日常化するための取組みが不足している。

○「体を動かすことが好きか」の問いに、女子の約37%の児童が否定的な回答をしている。

体力面での課題

○女子の記録は、全国平均値をすべて上回ったが、男子の「ボール投げ」が全国平均値を下回った。

○男女とも、「長座体前屈」の記録が、全国平均値をやや上回ったものの、他の種目と比較すると低い数値であった。

令和9年度の
重点目標値

○全学年児童の85%以上が、体力合計点C以上になることを目指す。

○「ボール投げ」の数値を全国平均以上にする。

○「運動やスポーツをすることが好き」に対する回答が100%肯定的になるようにする。